



政府統計

報道関係者 各位

令和4年3月2日

【照会先】

政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室

統計管理官 廣瀬 滋樹

室長補佐 齋藤 重正（内線 7471）

計析第一係（内線 7470）

（代表電話） 03（5253）1111

（直通電話） 03（3595）2812

第23回生命表（完全生命表）を公表します

厚生労働省では、このほど、「第23回生命表（完全生命表）」の概況を取りまとめましたので公表します。

「第23回生命表（完全生命表）」は、令和2年における生命表で、日本にいる日本人について、令和2年1年間の死亡状況が今後変化しないと仮定したときに、各年齢の者が1年以内に死亡する確率や、平均してあと何年生きられるかという期待値などを、死亡率や平均余命などの指標によって表したものです。

0歳の平均余命である「平均寿命」は、全ての年齢の死亡状況を集約したものとなっており、保健福祉水準を総合的に示す指標です。

日本の生命表として、厚生労働省では、「完全生命表」と「簡易生命表」の2種類を作成・公表しており、「完全生命表」は、国勢調査による人口（確定数）と人口動態統計（確定数）による死亡数、出生数を基に5年に1度作成し、「簡易生命表」は、人口推計による人口と人口動態統計月報年計（概数）による死亡数、出生数を基に毎年作成しています。

国勢調査年については、まず「簡易生命表」を作成し、国勢調査の結果（確定数）の公表後に「完全生命表」を作成しており、「完全生命表」は生命表の確定版という性格を持っています。

【結果のポイント】

- 第23回（令和2年）の男性の平均寿命は81.56年で、前回（第22回（平成27年）80.75年）と比較して0.81年上回った（2頁）
- 第23回（令和2年）の女性の平均寿命は87.71年で、前回（第22回（平成27年）86.99年）と比較して0.73年上回った（2頁）

※詳細は、別添概況をご参照ください。